

2015年2月4日 神戸大学附属中等教育学校 「人生で一番大切なものは何か」
道徳の時間／中学校2年生／37名

中川から、ビデオ撮影の確認。榊形公也先生の自己紹介。

中川：A君は今ルール違反をしているんですが、ルールは何でしたか。

B：コミュニティボールを持っている人だけが話せる。

中川：OK。人の話を聞いてください。他にもいろいろありますが、それだけを強調しておきます。もう一つだけ、先ほどの授業でもあったんですが、C君への当たりが強いか、それをやり過ぎるとルール違反になるので、そこはですね、みなきちっといきましょう。いいですか。ルールを再確認していきましょう。

(全体がうるさいので注意、ワークシート配布)

以前に問いのアンケートをとっていたので、そこら中川が三つ選び、板書。その三つから一つを多数決で選んだ。「平和とはなにか」に2人、「人生で一番大切なものはなにか？」に31人、「心優しい人とはどんな人？」に2人、「良い学年の基準ってなに？」に3人、手が上がったので一番多いものに決定。

D：とにかくにもお金を集めること。(生徒から、おー、という声上がる)

中川：なるほどね。

D：だって、金集めないと生きていけないし、結婚資金にあてられないから子どもも産めないし……
(笑いが起こって、少し騒がしくなる)

中川：はい、はい(と言って、静める)。最後まで。

D：一人で生きていくにしたって生きていくのに限界があるし……娯楽とかにも金がいるし、人生の大半には金が必要なんで、ま、とにかく働いて金を稼ぐこと。

E：えっと、人生で一番大切なものは愛と(笑いが起こる)違うって、愛と時間……。Dが言ってくれたように、お金を貯めるのには先ず時間があるんですよ。でも時間がなければ、お金も貯まらない。仕事する時間がなかったらお金を貯められないし、時間で、お金で愛は買えないし、愛で世界は変わると言うんで(笑いが起こる)、大事やと思います。(何かスゲーな、という声)

F：まー、さっきのことと同じようなもんなんですけど、結局は、人としての当然の生き方ができるっていう、そういう、ま、生き方を自分の中で大事にしていることが一番大事だと思って、時間は、ま、何て言うの、人に平等にあるわけだから、ま、それは置いとくとしたとして、個人のスキルとか、個人が目指すものとして一番大事なのは「人として」ということだと思って、結局お金を集めるために必要なことっていうのは、その、たくさんお金をもらおうとしたら、いい仕事につかなければいけないし、いい仕事につくためにはもっと勉強しなければいけないし、勉強するためには誰かに教えてもらわなければいけないから、結局は、人としてなっていない人は勉強を教えてもらえないどころか、自分でやっても分らないところだって一つはあるはずだから、そういうところで、進めなくなってくるわけだから、結局、元をたどっていくと、人としての大事な心を持つことが重要だと思う。

A：僕が大切だと思うことは、時間の有効活用と睡眠だと思って(笑い声が出てよく聞き取れない)睡眠は

ま一、夜中遅く起きて寝てなかったりすると授業中に寝たりする（周りがざわつきいている）そういうので睡眠というのと、時間の有効活用というのは、その、ま、無駄に、何か、物事の一つ、無駄に、一つ一つ物事に時間をかけていると他のことができなくなったりするんで、だから、できるだけ自分の、最速で物事を済ませて、自分のためになることのために時間を使うっていうのが大事だと思う。

B：さっき、そのEさんとかFさんとか色々な人が言ってくれたんですけど、一番大切なものは、やっぱり、命だと思って、お金を貯めるにも、人間性のあり方がどうのこうのいっても、愛にしても、まず生きてなかったら意味がないから、その魂……命とか、死んでしまったら、死んだ人はもう生き返ってこないじゃないですか……お金でも、何にしてもやっぱり、どうにもならないことだから、命がその人の中で大切なものだと思う。

D：うーんと、あの一、さっき金って言ったんですけど、金以前に、一番大切なものは自分の好きなこと。理由なんですけど、何ていうのかな、例えば、学校に来るのが友達……ても楽しいかなとか、そういう……要するに、生きるというのは、ただ飯食って寝て、大人の場合、働いてとか、俺たちの場合は、勉強してとか、そんなのばっかなんで、それで、楽しいと思うことがなかったら生きている意味はないと思ったんで、だから、ま一、自分にとって楽しいことが、まず生きるために必要なんじゃないかな。

G：えっと、人生で一番大切なことっていうのは、時間と、あとは自分が楽しいことを見つけるってことだと思って。まず、時間っていうのは、みんなも言っているけど、諺とかでも、時は金なりというようにやっぱり、時間が、時間を大切に使うことで、えっと、それで、ま一、みんな同じ時間が流れているけど、その間に、遊びほうけたりするか、ちゃんと勉強して将来のことを考えるかとかで、将来お金が、お金が入ってきたりとか、えっと、人とかかわれる時間ができたりとか、そういう深い時間を作っていくってことは、えっと、いい人生を開けるということと関連すると思って、自分に楽しいことを見つけるっていうのは、えっと、人生は、えっと、楽しいことだけじゃなくて、えっと、つらいこととかもあるから、つらいこととかがあった時に、そういう楽しいこととかも、私自身がつらいことがあっても、そういう、何て言うかな、私だったら、友だちと話すこととか、けっこう楽しいことなので、そういう楽しいことがあったら、えっと、頑張ろうっていう気持ちになれるんで、人生に必要なことは時間と楽しいことを見つけることだと思います。

H：さっき、Gさんが楽しいことを見つけるって言ってくれたんですけど、それと同じようなことなんですけど、えっと、例えば、仕事をしなければいけないっていうので、その、仕事以外に楽しみを見つけるということもあると思いますが、その仕事を、その仕事の中で楽しみを見つけるのも必要なことだと思います。

I：えっと、人生で一番大切なのは、やる気だと思って、で、ま、理由は、金を稼げるにしても、やる気がないと稼げないし、勉強するのも遊ぶのも、やる気の問題だから、やる気が大切だと思います。

J：えっと、人生で一番大切なものは、やっぱり、友だちだと思います。（少しざわつく）やっぱり、友だちがいなければ、一人で、生きていかなければいけないし、ま、不安になったりとか、友だちとかに頼ることができるので、友だちが大切だと思います。

中川：えーと、はい。質問ですね。質問は、はい、しても結構です。

D：そもそもあの一、友だちをつくれないうような人はどうしたらいいんですか。
(Dを笑うような雰囲気)

中川：ちょっと待ってください。もうちょっと大きい声で言ってもらっていいですか。

D：えーっと、人生で一番大切なものは友だちという意見があったんだけど、だったら、友だちがいなかったり、つくれない人は死ねばいいんですかと言いました。（笑いが起こる）

中川：（少し間があって）Jじゃなくてもいいですよ、答えられる人。

F：えっと、友だちがいない人とか作れない人は死ねばいいとか、自虐かと思いましたがけど（少し笑いが生じる）そういうことじゃなくて、そういうことを言いたいんじゃないかと、友だちを作れない人っていうのは結局自分から、何て言うの、友だちがいない人というのは、ま、一つは引っ込み思案とかで、人との関わり自体がなかった人であって、で、もう一つは、自分のやっていることが見えてないから、だから周りからどう思われているかよく分らなくなって、で、自分好き勝手にやってたら、当然友だちなんて、離れていくに決まっているし、だから、友だちがいないから死ねばいいとか、そういうのじゃなくて、友だちを、じゃ、作る努力をすればいいし、人生一番大切なものは友だちだから、だからその大切なことを手に入れるために頑張るといのが、人生で一番友だちが大事ということ、という意味になる。

K：人生で一番大切なことは、ということなんですけど、えっと、今さっきまでは、友だちとか、お金とか出てきたんですけど、僕はそういう視点とはちょっと違って、人生ってのは、他の人が、他の人っていうか、自分がふり返ってとか、他の人から見たら、すごい、自分が今まで生きてきた中の人生を見たら何かそれがすごい充実しているとか、素晴らしいとか思えるものであって、人生に必要なことが友だちとかではなくて、やっぱり、その、大切な「こと」と言っているんで、友だちとかやったら、僕は大切な「もの」になるんじゃないかなって思って、人生に一番大切なことというのは、どれだけ自分に、自分が充実した人生を送れるかっていうことが一番大切だと思いました。

L：えっと、僕も……いまのK君の意見が、すごい、いいなーと思ったんですけど、まず、人生に必要なのは楽しみを見つけることで、そうしたらK君が言った充実というものにもつながると思うし、後々、何か、思い返した時に何かすごい満足感だったり、笑いがこぼれるような感じだったら、何か充実しているなーと思えるんで、してたなーと思えると思うんで、私は楽しいことを見つけることが人生の中で必要じゃないかなーと思います。

（少し間がある、話が途切れた感じ）

中川：何でもいいですよ。誰を選んでもらっても構わないです。

（生徒に発言がないので、ボールを受け取る）

中川：えー、今あの、楽しみという話になって、充実の関連でいろんなことが出ていると思うんですけど、僕も、あっそうやなと思って、聞いてて、その通りやなと思ってました。そうですね、僕が楽しいなって思えることはいっぱいあるんですけど、楽しくなったら人生は充実するような気がします。楽しかったら、すごい、あの、すごい大事なことをしているような気がします。例えば、えーっと、今日の漢詩なんかもそうです、僕にとっては。えーっと、自分がこー、これくらいかなと思うことを、教員だったらそうなんですけど、予想をはるかに超えてくる時があります。そんな時はすげーなって、心から思いますね。心から思うし、ものすごい楽しいです。で、それに近いもんでいったら、後輩と柔道をやって、めっちゃうまい技を出されたときは、おっすげえなと思いますね。自分が投げられても、えー、何て言うんでしょう、すごい楽しいですね。それは、自分が予測、僕が今楽しいって言ったのは、自分がこう予測していることを相手を超えてきた、だから相手との関係なんですけど、相手を超えてきた時は、何かすごい、すごいなーって単純に思うっていうことがありますかね。えー、今は僕の意見ですが、もしよければ、今日の議論はもしかしたら、一つに決めるのは難しいかもしれないですね、今聞いてると。なので、もしよければ今まで聞いた中で、これはどうやる、こういう場合

はどうやるとか、質問してもらっても結構です。いまD君がまさにやってくれたように、質問でも結構ですので、どうでしょう。自分の意見、新しいやつでも、どちらでもいいです。

M：えっと、皆が言ってくれたやつは、どれもあたっているというか、どれも大事やと思って、えーっと、でも、ま、たぶん人によって感じ方は違うと思って、例えば、その、今までずっと闘病中の生活を送ってきた人にとっては、健康なことが一番大事と感じるかもしれないし、今までいじめられてきた人にとっては友だちが一番大事、友だちがいることが一番大事って思うかもしれないし、その普通に、あの普通についていうか、別に病気とかにもならず、健康に、あの、充実した生活を送ってきた人からすればやっぱり、充実した生活を送ることが一番大切って答えるだろうし、その人の価値観じゃないけど、その人が今まで経験したこととかによって、その人にとって、一番大切なことっていうのは、変わってくるんじゃないかなーと思います。

(少し間が出る、生徒たちはこの発言をよく考えている様子)

中川：じゃ、もし、あれだったら、誰でもいいです。しゃべってもらいたい人でも。

(ちょっとしたやりとり)

N：僕も、人生で一番大切なものっているのは、Mさんと同じで、人にとって感じることは違うと思う。でやっぱり、人にとって、やっぱり、感情とか、感じ方は違うと思うし、そこをやっぱり、決めつけてしまると、やっぱり、L君とかが言った、楽しいことを見つけて、充実をした日々をすすめていくことができなくなるわけで、やっぱり、楽しいことを見つけて、充実した日々を送ろうと思ったら、やっぱり、一人一人が違うことをやっていて、あの、自分が満足できるっていうことを見つけないと、やっぱり、人生で一番大切なことって見つからないと思うんで、人にとって、感じることは違うんじゃないですか。

D：えっと、うーん、いろんな人の話を聞いてて思ったのが、全部をそうしろとは思わないけど、少なくとも、起こったことに対してポジティブシンキングになる、何と言うか……

中川：もっと大きい声で言ってくれる？

D：例えば、何て言うか、スポーツとか、そういうのが生きる目的になっている人は、どうせこんな風に努力したって、もっと強い人がいるから、俺なんかかなわないだろうって思っている人がいたら、努力する気になれないし、勉強したって、どうせ結果出ないだろうって思ったら、勉強もできないし、で、こうすれば成果が出る、こうすれば絶対に良いことが起こるみたいな、ポジティブシンキングは少なくともよいことで、勉強ができるんじゃないかと俺は思いました。

E：でも、ポジティブが大切って言うけど、ポジティブシン（言にくいので、他の生徒の笑いを誘う）ポジティブすぎてうざい人っているじゃないですか。

中川：もう一回言って。

E：だから、自分が失敗したくせに「これからがあるじゃないか」とか言って、逆にポジティブに言われすぎると、うざい人っているじゃないですか。そういうのは、どう思うんですか。

D：別にそれはまー、ポジティブに考えていることを、口に出すことと出さないこと自由があるし、それに何もそんな、何でもポジティブに考えろと言っているわけじゃなくて、何て言うか、全部をネガティブに考えるのじゃなくて、何て言うか、ポジティブに考える必要がある人が、こうしろって、こうしたら

いいよーみたいなことを考えたんです。

K：えっと、別にポジティブに考えることじゃなくて、ネガティブに考えるって、全然大切だと思って、そこでさっき言ったように、スポーツ選手は、自分よりか格上の人がいるからあきらめて、別の道行くっていうのも良いことだと思うけど、それは結局後で自分がそのとき、スポーツをやってきたことを止めてみて、何か、よくあるじゃないですか「スポーツをこれまでずっとやってきたけど、止めて本当に大切なものが分った」とか、何かそういうこと言ってて、例えば、大切なことが分ればそれでいいんですけど、それを、大切なことに自分がそんな時気づけなかったか、気づけるかどうかというのが、ネガティブに考えるかポジティブに考えるかの分かれ道になると思った。

N：えっと、ポジティブにかネガティブに考えるかっていうと、やっぱり、ポジティブに考えた方が人生は開いていけると思うし、ネガティブに考えていたら、どんどん自分が暗くなっていて……。で、やっぱり、ポジティブに考えることによって、どんどん道は開けていくと思うし、さっきEさんが言った、ポジティブになり過ぎるといのは、それは逆に面倒くさいタイプで、いろいろいると思うんですけどやっぱ、考え過ぎず、どんどん直感で進んでいくっていうのが、進んでいくことで、議題である、人生に大切なことにたどり着けるんじゃないかなーって、思います。

F：ポジティブとネガティブの話になった時に、どっちが大切かというよりは、そういう、ポジティブでもネガティブでも、様々な心の考え方を持つことができるっていうことが大事だと、さっきEさんが言っていたポジティブ過ぎる人とか、逆にネガティブ過ぎて、いいですみたいな、そういう控えめな人っていうのも、どっちにしても、人から避けられてしまって、結局、自分が大切なものに、見失ってしまう状態になってしまうから、だから、その、時にはポジティブに考えて前向きに進むことも大事やし、さっき言っていたように、ネガティブで、一度、立ち止まってみてから考えてみるっていうこともできるわけだから、だから、そういう色々な考え方を持つことも大事だと思いました。

D：えっと、K君の意見とかを聞いて、確かにもっともだなーって思ったのと、何とというか、さっきF君が言ってしまったんですけど、何て言うか、今、考えを変えて、ネガティブ過ぎてもポジティブ過ぎてもあまりいい方向に行かないから……。考え方を変えることが大事なのかな、そういう風に思いました。

L：僕が、大事だと思うものは、えっと、今起きてることとか重要な立ち位置とか、客観的に見ることが見ることだと思って、さっき言っていたネガティブ、ポジティブというのも、自分を客観的に見たら、若手に体力が負けてきたとか、テクニックがまだちょっとへたくそになってきたとか、何か、まだここは自信があるとか、そういうことがいろいろ分ると思うんで、そこで、その、よりっていうか、気分によって押し進めたり、逆にすごいナイーブになっちゃったりするんじゃないかって、客観的に自分を観察したり、状態を観察することで、より良い選択にできると思うんで、僕は客観的な姿勢が大切だと思う。

M：えっと、あの、皆の意見を聞いていて、えと、私が思うに、一番大切なものは、やっぱり、前に言っていた充実した人生というので、皆が言っているのは、その充実した人生に行くところの入り口、それぞれ違うと思って、ポジティブに考えたから充実した生活が待ってた、健康になれたから充実した生活が待ってた、自分を客観的に見れたから充実した生活が待ってたという、人それぞれの今置かれている立場で、そこから自分を充実した人生に持って行くには何を入口に充実した人生に行くというのが、人それぞれに違うけど、結局は、待っているものは充実した人生、楽しめる人生なのかなと思いました。

(少し間が出る、考えを深めている様子)

中川：はい、今、途中でね、あー、すごくいいことやなと思ったんですけど、えっと、考えを変えたというのがありましたね。これは実はすごい、いいことです。初めから、答えが定まっていないという人もいると思うんで、話を聞いてて考えが移り変わっていったということ、それは当然いいことですね。

それで、今、Mが言ってくれたことも、みんなの意見を聞いてたら、結局は、充実した人生なのかもと途中で思いついたのもいいことだと思います。もしよかったら、まだしゃべっていない人で、実はこう考えていたんやけどというのがあれば、言ってもらえたらありがたいです。ということで、まだしゃべってなくて、しゃべりたそうにしているI君に当てたいんですけど。

F：しゃべってました。

中川：しゃべった？ それじゃ誰か？（周りからNという指名が入る）N？じゃ、N。（笑いが起こる）

N：様々な考えを持つことで、人生の中で迷ったら、一つの考えしかできない人はそっちの方向に行っちゃうし、まー、いろんな考え方ができたら、こっちに行ったらどうだろうとか、あっちに行ったらどうだろうとか、いろいろ先を見通せることができるから、楽しい人生を送れると思います。

中川：もしよかったら、まだしゃべってない人。

O：さっきN君が言ったことにつなげるんですけど、いろいろな視点から、客観的にというのも含めて、自分のこととかを見つめ直すことが大切で、なぜかという、自分の、それによって、いい面と悪い面が、どちらも分ると思うから、はい、そうした方がいいと思います。

P：さっきから、みんな充実した人生とか楽しい人生とか言っているけど、それって具体的に何なんですか。

中川：ほー、違うんですね。答えれます？ 是非、はい、いいですよ。いい質問です。

D：生きている目的がないと感じない程度に、何と言うか自分にとって、刺激のある……ま、何て言うか、充実しているとか楽しいとかいうのは、結局、生きてて退屈じゃないということだから……それなりに刺激があって、自分にとって新しくても、大切なことは飽きないこと。飽きても新しいものあるし。

E：えっと、充実した人生というのは、誰かが言ってた、やりたいことを見つけるとい、何て言うかな、自分のやりたいことと、突き進んでやりたいということと、失敗とか成功とかいう、その経験を積むことに……積めるような人生だと思って、やっぱり、失敗したから次からそれを止めようというポジティブな気持ちをもつのも大事と、誰かが言っていたし、失敗することによって、次どう動けばいいかっていうのが分って新たな経験ができるし、その、何て言うの、新しい考えもできるし、経験があることによって、人生にどういくかというのが分っていくから、後悔とかそういうのも大切だなって。

中川：さっき、何人か手を挙げてた。はい。

F：充実した人生というのは、簡単に言うとするなら、もし、突発的なあれじゃなくて、ゆっくり自分が死に行く中で、多少は悔いはあったとしても、二分の一で、良いか悪かって人生、人生良かったか悪かったかと振り返った時に、ま、良かったと言える人生、その、自分に、自分の、一番大切にしているものは人によって違うかもしれないけれど、それを出すことができたかできなかったという……。

B：えっと、Fさんの意見を聞いて、似たようなことなんですけど、充実したというか、自分が最後死ぬ間際ぐらいになって、人生を見直した時に、その、いい人生って言える、いいなーって思った人生とかいうのは、やっぱり、その、自分が人生で一番大切なものは何かって思った時に、例えば友だちだと思った人とかだったら、友だちに恵まれた人生を送ってきたりだったとか、お金だと思った人だったらやっぱり、お金持ちになってるとかして、大富豪になって死ぬみたいなのが、良かった人生だと思ったりするし、人によって、その、充実した人生とかいい人生だなど思うことは、自分が大切だと思えることに

よって、それぞれ違うなって思った、今。

(次の発言の子にうまくボールが届かなかったようで、かなり落ち着いた笑いが起こる)

E：えっと、今までの話を聞いて、やっぱり、自分が生きたい人生というか、生き方で生きることが大事なんだな一と思って、やっぱり、例えを言うと、今、イスラムのことを考えていたんですけど、その、後藤さんが亡くなったじゃないですか。その、亡くなったのも周りから見た人とかは、何で、こう、自分が、何て言うのかな、湯川さんを助けに行っ、助けに行っ、後藤さんは、先ず死んだのは、何て言うか、かわいそうやなとか、死ぬのは勝手やとか思っている人もいると思うんやけど、やっぱり、後藤さん自身は湯川さんを助けたくて、行って、結局は助けられなかったけど、助けようというその誠意を見せられたことが、あの人にとって良かったんだと思うし、その、やっぱりMさんが言っていたように、人それぞれ大切なことも違うし、大切にしているものも違うから、やっぱり、自分が生きたい人生を送れることが大切だと思う。

中川：(立ち上がって)じゃ、あと、誰がいいですか。(誰にするか少しやりとりが行われる)

あと二人ぐらいどうでしょう。まだ一、よかったらしゃべりたい人。じゃ、誰か、まだしゃべっていない人。

A：一番大切なものみたいんで、そもそも今まで全員が言ったのは、そもそも生きてなければいけないことなので、死んでたならできないんで、とりあえず、一番大切なことってというのは生きることだと思う、じゃないかな一と思う。

中川：じゃ、よかったら榊形先生、ずっと見てて、どうですか。

榊形：えっと、直接的な答えではなくて、皆さんの話の中で、ちょっと疑問に感じてたのは、人によって違うという、大切なことは人によって違うという意見があって、最後、そういう議論の中で、死ぬときに、充実した、あるいは生きていてよかったというような、死ぬ時の話をしてくれた、このことが非常に面白い展開だと思いました。なぜかというと、人によって違うという意見もあったんだけど、私の、手を挙げている人に聞いたかったな一というのは、人によって違うというのではなく自分にとっても違うんじゃないかということ、例えば、今、皆さん、中学生でしょ、中学生として一番大切なことってというのはやっぱり、ひょっとしたら大人になってどうなるか分からないし、あるいはもっとちょっと早い時、自分にとって大切だと思われていたことを、ちょっと反省した時に、こういうことじゃなかったかな一って思うかもしれないし、今、大切に思うことは違うかもしれないし、もっと年を取ったら大切なことは違うんじゃないか、というような考えがあって、それを聞きたいな一と思った時にちょうど死ぬときという話が出たんで、それで、落ちたな一という気がしました。それから、議論の中で、人の意見を受けて、そして、自分はこういう風に思うというような発言が非常に多かったのも、この授業の楽しみ、私が聞いていて、楽しいことの一つじゃないかな一って、思いました。あと、何人かの人、話をする時に、こういう風な場合には、こうなるんじゃないかという形で、議論の推論の形を使って発言してくれた人がいたんだけど、これは、一人の人ではなかったかな一と思うんですが、これも面白かった。あとは、こういう議論をしている時に、例えば、Aさん(一般名)はこういう風なことを考えているけれども、あるいはこう言っているけれども、私からすれば、Aさんの発言はこういう場合には、矛盾が起こるのではないかとか、こういう場合はちょっと違うんじゃないか、そういう形の反論をしてディスカッションをする場面というのが、まだあまりないんじゃないかなという気がするんですね。このような議論をしてもらえると、考え方が深まっていくんじゃないかなという気がします。